

## 平成26年6月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成25年11月13日

会社名 株式会社 武井工業所  
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄  
 本社所在地都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 厚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大内 哲朗 TEL (0299) 24-5216

取締役会決議日 平成25年11月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年6月期第1四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	1,109	( 8.3 )	31	( 200.3 )	21	( - )
25年6月期第1四半期	1,024	( 45.6 )	10	( - )	△ 3	( - )

	四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	自己資本 四半期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
26年6月期第1四半期	19	( - )	5 46	- -	1.6	0.5	2.0
25年6月期第1四半期	△ 6	( - )	△ 1 91	- -	△ 0.7	△ 0.1	△ 0.3

- (注) ① 持分法投資損益 26年6月期第1四半期 - 百万円 25年6月期第1四半期 - 百万円  
 ② 有価証券の評価損益 - 百万円 デリバティブ取引の評価損益 - 百万円  
 ③ 期中平均株式数 26年6月期第1四半期 3,536,656 株 25年6月期第1四半期 3,536,656 株  
 ④ 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)  
 ⑤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
26年6月期第1四半期	4,329		1,186		27.4		335 52	
25年6月期第1四半期	4,356		979		22.5		276 88	

- (注) ① 期末発行済株式数 26年6月期第1四半期 3,542,000 株 25年6月期第1四半期 3,542,000 株  
 ② 期末自己株式数 26年6月期第1四半期 5,344 株 25年6月期第1四半期 5,344 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年6月期第1四半期	128	△ 24	89	387
25年6月期第1四半期	△ 31	△ 26	81	186

## 2. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間		期末
				円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	2,257	53	35	0 00	- -	0 00
通 期	4,700	182	146	- -	2 50	2 50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 41円 37銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改定に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年6月期第1四半期 | 3,542,000 株 | 25年6月期      | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数           | 26年6月期第1四半期 | 5,344 株     | 25年6月期      | 5,344 株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間)  | 26年6月期第1四半期 | 3,536,656 株 | 25年6月期第1四半期 | 3,536,656 株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融政策や各種経済対策への期待感から、円安が進行し、企業業績の回復や株価の上昇等、大手企業を中心に収益改善の傾向が見られますが、欧州の財政不安の長期化や米国の量的緩和の縮小・解除観測、来春の消費税増税など先行きは依然として不安定な状況で推移しております。

当社の属する建設業界におきましては、公共投資は復興関連予算の執行等により堅調に推移したことに加え、民間建設投資も回復傾向が見られたものの、2020年に東京オリンピック開催が決定したことで更なる建設労働者の需要逼迫等によるコスト上昇や地域間格差が懸念され、厳しい状況が続くと予想されます。

このような経営環境のなか当社は、活発化した宅地造成物件や県内の災害復旧関連の需要に対応しつつ、繁忙期の顧客ニーズに沿った製品群の適正な在庫水準を保つため、全社間で情報の共有化を図り、徹底した工程管理による生産を行なっておりまいた。

この結果、売上高は11億9百万円（前年同期比8.3%増加）となりました。利益面では、営業利益3千1百万円（前年同期比200.3%増加）、経常利益2千1百万円（前年同期は3百万円の経常損失）、四半期純利益は1千9百万円（前年同期は6百万円の四半期純損失）となりました。

なお、品種別売上高の状況は、次のとおりであります。

区分	品 目	前 第 1 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 24 年 7 月 1 日 至 平 成 24 年 9 月 30 日 )		当 第 1 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 25 年 7 月 1 日 至 平 成 25 年 9 月 30 日 )	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製 品	道 路 用 製 品	169,543	16.6	175,032	15.8
	水 路 用 製 品	332,050	32.4	386,888	34.9
	擁壁・土止め用製品	90,144	8.8	123,223	11.1
	法面保護用製品	39,209	3.8	5,726	0.5
	そ の 他	41,279	4.0	27,689	2.5
	小 計	672,228	65.6	718,559	64.8
商 品	コンクリート二次製品	307,071	30.0	339,957	30.6
	そ の 他	45,123	4.4	51,039	4.6
	小 計	352,194	34.4	390,997	35.2
	合 計	1,024,423	100.0	1,109,556	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて1億3千6百万円増加し、43億2千9百万円となりました。流動資産は、前事業年度末と比べて1億2千3百万円増加し、18億8千万円となりました。これは主として「受取手形」が1億3千1百万円減少したものの、「現金及び預金」が1億9千3百万円及び「売掛金」が4千1百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて1千2百万円増加し24億4千8百万円となりました。これは主として「有形固定資産」が3百万円及び「投資その他の資産」が8百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べて1億2千5百万円増加し、31億4千2百万円となりました。流動負債は、前事業年度末と比べて6千8百万円増加し21億6千2百万円となりました。これは主として「未払法人税等」が2千6百万円、「預り金」が1千7百万円減少したものの、「買掛金」が3千万円、「短期借入金」が3千5百万円及び「賞与引当金」が3千万円増加したこと等によるものであります。固定負債は前事業年度末と比べて5千6百万円増加し、9億8千万円となりました。これは主として「長期借入金」が5千2百万円及び「リース債務」が7百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べて1千1百万円増加し、11億8千6百万円となりました。これは主として第58期の配当原資として8百万円支出したものの、四半期純利益として1千9百万円を計上したことにより、「利益剰余金」が増加したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加1億2千8百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少2千4百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの増加8千9百万円により、前事業年度末に比べて1億9千3百万円増加し、当第1四半期会計期間末残高は3億8千7百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における営業活動の結果、増加した資金は1億2千8百万円(前年同四半期は3千1百万円の減少)となりました。これは主として、たな卸資産が2千5百万円増加、法人税等の支払が2千6百万円あったものの、税引前四半期純利益を2千1百万円計上したことに加え、減価償却費の計上が2千3百万円、売上債権の減少が9千3百万円及び仕入債務の増加が4千8百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における投資活動の結果、減少した資金は2千4百万円(前年同四半期は2千6百万円の減少)となりました。これは主として定期預金の払戻による収入が8百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が1千5百万円、定期預金の預入による支出が1千2百万円及び保険積立金の積立による支出が3百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における財務活動の結果、増加した資金は8千9百万円(前年同四半期は8千1百万円の増加)となりました。これは主として長期借入金の返済による支出が1億8千2百万円あったものの、長期借入れによる収入が2億5千万円あったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における業績は、ほぼ計画どおり推移しており、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想した結果、平成25年8月9日付の「平成25年6月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 一般債権の貸倒見積高の算出方法に関しては、前事業年度末において使用した貸倒実績率によって算出しております。
- ② たな卸資産の評価方法につきましては、実地たな卸を行わず、前事業年度末の実地たな卸高を基礎とした帳簿たな卸によって算出しております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,795	407,363
受取手形	376,718	244,950
売掛金	577,171	618,291
商品及び製品	496,545	521,151
原材料及び貯蔵品	80,721	81,122
前払費用	17,333	13,726
その他	3,885	2,879
貸倒引当金	△ 9,053	△ 8,648
流動資産合計	1,757,117	1,880,836
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	326,229	320,654
構築物(純額)	127,891	124,111
機械及び装置(純額)	94,328	96,825
車輛運搬具(純額)	289	289
工具、器具及び備品(純額)	89,242	90,188
建設仮勘定	—	404
土地	1,605,433	1,605,433
リース資産(純額)	80,885	89,618
有形固定資産合計	2,324,299	2,327,525
無形固定資産	4,572	4,927
投資その他の資産	107,346	116,325
固定資産合計	2,436,218	2,448,778
資産合計	4,193,336	4,329,614

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	144,788	163,545
買掛金	229,486	259,502
短期借入金	1,080,000	1,115,000
1年内返済予定の長期借入金	315,376	330,184
リース債務	28,194	29,631
未払金	206,962	198,033
未払法人税等	31,183	4,454
未払消費税等	11,645	9,446
預り金	19,921	2,107
賞与引当金	20,500	50,686
その他	6,425	—
流動負債合計	2,094,485	2,162,591
固定負債		
長期借入金	746,034	798,972
退職給付引当金	108,219	103,999
リース債務	58,664	66,425
繰延税金負債	2,500	2,921
資産除去債務	8,050	8,089
固定負債合計	923,468	980,407
負債合計	3,017,954	3,142,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	260,288	270,740
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,171,131	1,181,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,251	5,031
評価・換算差額等合計	4,251	5,031
純資産合計	1,175,382	1,186,614
負債純資産合計	4,193,336	4,329,614

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,024,423	1,109,556
売上原価	769,983	831,349
売上総利益	254,439	278,206
販売費及び一般管理費	243,923	246,629
営業利益	10,515	31,577
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	31	55
その他営業外収益	1,147	2,564
営業外収益合計	1,179	2,619
営業外費用		
支払利息割引料	14,993	12,470
営業外費用合計	14,993	12,470
経常利益又は経常損失(△)	△ 3,297	21,726
特別損失		
投資有価証券評価損	527	—
特別損失合計	527	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△ 3,825	21,726
法人税、住民税及び事業税	2,924	2,439
法人税等調整額	—	△ 6
法人税等合計	2,924	2,433
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 6,750	19,293

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 3,825	21,726
減価償却費	24,431	23,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 77	△ 405
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,749	30,186
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 1,600	△ 4,219
受取利息及び受取配当金	△ 31	△ 55
支払利息	14,993	12,470
投資有価証券評価損益(△は益)	527	—
売上債権の増減額(△は増加)	△ 63,002	93,230
割引手形の増減額(△は減少)	△ 4,415	△ 2,582
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 6,832	△ 25,007
仕入債務の増減額(△は減少)	16,212	48,772
その他資産・負債の増減額	△ 19,518	△ 27,221
小計	△ 14,389	170,741
利息及び配当金の受取額	31	55
利息の支払額	△ 15,947	△ 15,861
法人税等の支払額	△ 1,523	△ 26,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,828	128,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 119	△ 424
有形固定資産の取得による支出	△ 10,779	△ 15,937
無形固定資産の取得による支出	—	△ 367
定期預金の払戻による収入	100,000	8,000
定期預金の預入による支出	△ 112,000	△ 12,000
保険積立金の積立による支出	△ 3,111	△ 3,347
その他投資の増減額	△ 159	△ 74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,170	△ 24,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 15,000	35,000
長期借入れによる収入	200,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△ 93,334	△ 182,254
リース債務の返済による支出	△ 6,508	△ 7,532
配当金の支払額	△ 3,459	△ 5,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,697	89,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,698	193,567
現金及び現金同等物の期首残高	162,508	193,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	186,207	387,363



- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。